

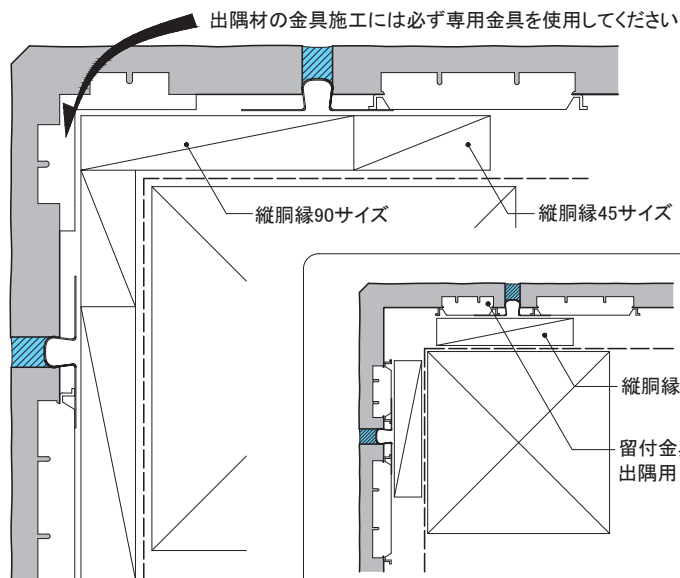
1-23 各部の基本納まり図

6) 出隅部

①基本納まり

■金具施工の場合

- モエン本体と同質出隅の取り合いは横張り施工、縦張り施工ともシーリング目地納めとなります。
(ドライジョイント工法を除く。)
- 出隅部にはハットジョイナーを用い、シーリングの3面接着や金具施工における横ズレなどの不具合が発生しないように施工してください。
- 四方合いじゃくり品の本体と出隅の取り合いは実を切断して使用してください。合いじゃくりのままではシーリングの施工不良など不具合の原因となります。
- モエン施工時に不陸が生じる場合、あらかじめ不陸に応じた厚みのスペーサーで調整してください。

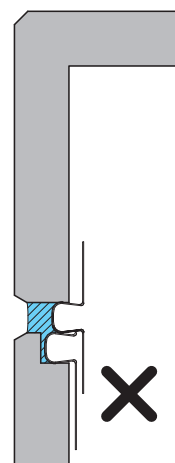


留付金具EX出隅用施工図

留付金具EX出隅用Ⅱ施工図



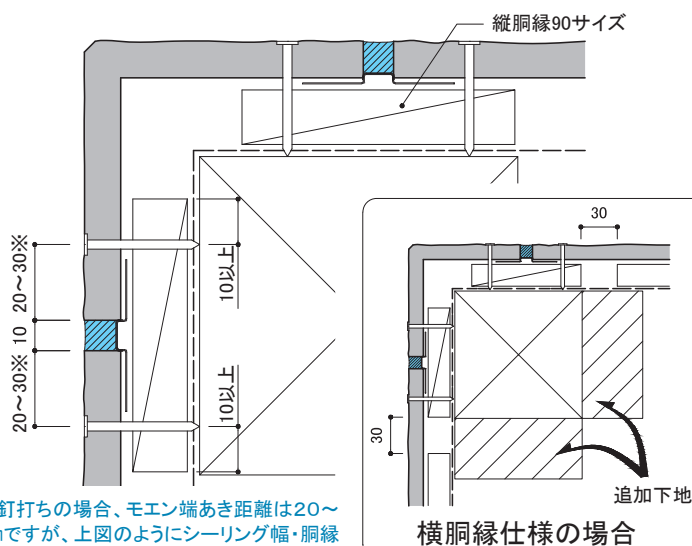
出隅部と合い
じゃくり部の取り合い



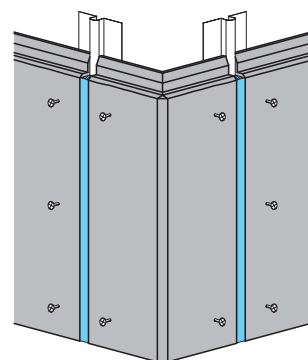
シーリングの施工不良をまねき不具合の原因となります。

■釘打ち施工の場合

- モエン本体との取り合いは、横張り施工、縦張り施工ともハットジョイナーを用い、シーリング目地納めとなります。
- 躯体に胴縁が留め付けられない場合は、追加下地を取り付けます。
- モエンをモエン用釘で留め付ける際は、胴縁の端あき距離を10mm以上確保します。
- モエン用釘の端あき距離・先孔については、P39～40をご参照ください。



※通常釘打ちの場合、モエン端あき距離は20～35mmですが、上図のようにシーリング幅・胴縁の端あき距離を考慮するとモエン端あき距離は20～30mmとなります。
留め付けの際は、十分ご注意ください。



出隅部の留め付け